

【テピアマンスリー 今月の話題】2022年4月号

ベトナム：環境分野のデジタルトランスフォーメーションに向けて

ベトナムでは、2019年に「インダストリー4.0への主導的参画に向けた政策・方針」¹、2020年に「2030年を見据えた2025年までの国家DXプログラム」²が公表され、国を挙げてデジタルトランスフォーメーション(DX)が推進されて来た。³コロナ禍を機に各分野での非接触・遠隔取引ニーズが高まり、オンライン学習アプリや遠隔医療アプリなどデジタル分野での様々なスタートアップビジネスが急成長するなどDXの動きが更に加速した。

行政でも「デジタル政府」の導入が各省庁や地方政府で実施され、あらゆる行政手続きがインターネット上で可能となった。今後はデータベース構築と共に、国民誰もがオープンデータソースへのアクセスが可能となる省庁横断のデータベースの連携、これに伴う情報セキュリティ技術の導入が予定されている。

天然資源環境省も2021年3月に「2030年を見据えた2025年までの天然資源環境におけるDXプログラム」⁴を公表。2021年12月には「環境分野におけるDX推進委員会」を発足しおり、現在「天然資源環境分野におけるデジタル政府導入シナリオ2.1」を作成中である。行政手続きのオンライン・ワンストップ化や環境モニタリングデータ等のデジタル化、データベース化も着々と進んでいる。

「天然資源環境省におけるDXプログラム」は2030年までにグリーン経済・循環型経済・環境にやさしい経済が構築されることをビジョンとしている。3つの主要プロジェクトは、省内のスマート管理システム、省のシステムと他機関のデータシステムとの連携事業、天然資源環境分野でのDX実現としている。例えば、個人・事業者・取引機関のワンストップ窓口での手続きの実現、土地・地質・天然資源モニタリング等の情報のデータベース化、他省庁のデータベースとの連携などが予定されている。環境分野の市場ニーズも、クラウドやAI、IoT等を活用したDXに対応できる技術へとシフトしている。

以下に、「天然資源環境省DXプログラム」の重点的ミッションを抜粋する。

●第3章「天然資源環境省DXプログラム」における重点的ミッション（一部抜粋）

¹ 2019年9月27日付共産党政治部決議52-NQ/TW号

² 2020年6月30日付首相決定749/QĐ-TTg号

³ 2022年3月24日付Binh Duong News

<https://baobinhduong.vn/day-manh-chuyen-doi-so-trong-quan-ly-tai-nguyen-va-moi-truong-a267805.html>

⁴ 2021年3月10日付天然資源環境省決定417/QĐ-BTNMT号

3.1 DXに対応する省内体制の再構築

3.2 デジタルインフラ開発

3.3 データインフラ開発

ビッグデータ管理技術を活用した天然資源データ保存場所の構築など

3.4 デジタルプラットフォーム構築

デジタル政府・デジタル経済・デジタル社会・スマートシティ構築のための天然資源環境デジタルデータプラットフォームの構築（①土地データ②地図・リモートセンシング等のデータ③国家環境データ④海洋情報データ⑤地質・鉱物データ⑥気象・気候変動のデータ、水資源情報データ等）など

3.5 情報セキュリティの確保

3.6 天然資源環境分野でのデジタル政府構築

3.7 デジタル経済構築

3.8 デジタル社会を構築するサービス提供

3.9 天然資源環境 DX における優先ミッション

地理・環境資源モニタリング・生態多様性・排出減・水資源・リモートセンシング・気候変動のデータベースを含む天然資源環境分野における情報システム、ビッグデータベース構築と全面的な管理、環境モニタリング・評価・事故処理、廃棄物管理、早期災害警報におけるスマート技術導入など

(飯田 まどか)